

三井のリハウス 東京都U-12サッカーブロックリーグ 大会要綱

大会趣旨

少年期における子どもたちの健全なる心身の発達を願い、技術、戦術、マナー、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。8人制の試合をすることにより、「判断」へのアプローチ場面を多くし、いろいろなポジションを経験しながら個々の「技術」の質を高める。育成をめざし、多くの選手に試合経験を与えることとする。

- 1 主催 公益財団法人東京都サッカー協会
- 2 主管 東京都少年サッカー連盟
- 3 協賛
- 4 協力
- 5 期間 前期リーグ 4月～6月
後期リーグ 7月～10月10日
- 6 試合会場 参加チームによる提供(原則ホーム&アウェイ)
- 7 参加資格 (公財)日本サッカー協会第4種に団体登録したチームであること。
上記チームの構成は単一団体チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
グラウンド提供から会場運営など、リーグ戦運営に協力できるチームであること。
- 8 試合方法 9～10チームのグループでリーグ戦を行う。
前期、後期を通じてリーグ総当り戦で行う。
土、日で最大2試合までとする。
(土曜日1試合、日曜日1試合 or 土曜日か日曜日に2試合)
3連休の扱いは、土曜2試合、日曜なし、月曜1試合
土曜1試合、日曜なし、月曜2試合の合計3試合
試合時間を短くする事により土、日で3試合まで認める。
9チーム以上のグループでリーグ戦を行う。 ※ 8チーム以下のリーグ戦は認めない。
- 9 エントリーと選手登録
U-12リーグ参加選手はエントリー登録をすること。
<別紙エントリー表>
エントリー表に記載無き選手はメンバー登録は出来ない。
2ブロックでは、エントリー表を前期:3月31日(木)、後期:6月22日(水)までに提出する。
以降、変更は随時行える。
- 10 選手の移籍と入れ替え
U-12リーグ開催中は原則移籍登録は出来ない。
但し、前期終了後、後期リーグには同一団体の選手の入替えはできる。
特別な理由に該当する選手の移籍は認めるが、同一大会に参加した選手は移籍後リーグ戦には参加できない。
- 11 表彰 特になし
成績結果は、全日本少年サッカー大会ブロック大会に反映される。
- 12 参加費 2万円以下
2ブロックリーグは、2万円とする。

三井のリハウス 東京都U-12サッカーブロックリーグ 競技運営

東京都少年サッカー連盟競技部

1 参加資格

- (1) チームの構成は、選手は協会登録されている全員が参加できる。
引率指導者3名以内（ベンチには2名以上3名以内）
- (2) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある成人の指導者であること。
また内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有することが望ましい。
※ 2016年度より、ブロック指導者講習会履修者及びキッズ指導者有資格者、D級以上の資格保有者1名以上がベンチ入りすること。また、成人1名以上がベンチ入りすること。
※ 2018年度まで、キッズリーダー資格保持者は、公認コーチ資格者扱いとなる。
※ 2019年度より協会公認コーチ資格(D級)以上の成人であること。
- (3) 審判員は、有資格審判員2名を帯同していること。
- (4) 審判員は、指導者を兼務する事が出来るが、審判員を優先すること。
- (5) 複数エントリー参加条件は別に記載する。
- (6) 必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

2 競技方法

- (1) 8人制の競技とする。
- (2) 9チーム以上のグループによる前期、後期のそれぞれの総当りリーグ戦をおこなう。
- (3) 試合時間は40～30分とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。(前半終了の笛から後半開始までの時間)
- (4) リーグ戦の順位決定方法は勝ち点制、勝3点、分1点、負0点
尚、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績
 - ④ 全項目において同一の場合は、抽選に依る。

3 競技規則

- (1) 2016年度(公財)日本サッカー協会規則および「8人制サッカールール」による。
但し、東京都少年サッカー連盟が定めた事項が優先される。
※ キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合には相手チームのゴールキックで再開する。
- (2) 競技フィールド
68m×50mを基本とする。「交代ゾーンは中央から両側に3m」その他は少年用とする。
- (3) 登録人数
試合ごとに何人でもできる。
- (4) 競技者の数
8人(内1人はゴールキーパー)試合開始時8人が必要である。
※ 怪我人、退場者で競技者が欠けた場合には即ち補充し常に8人で競技をつづけること。
- (5) 競技者の交代
自由な交代を適用する、一度退いた競技者も再び交代要員になれる。
但し、交代は交代ゾーンを使用し、主審に通知することなく交代できる。
ゴールキーパーの交代は主審に通知し試合の停止中に交代する事ができる。
- (6) 不正行為
※ 競技者が退場を命じられた場合、競技者のチームは競技者を補充する。
常にピッチ上に8人いなければ参考試合となる。
本リーグにおいて、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない。
警告累積3回は次の試合に出場できない。(累積はU-12リーグ終了時消滅する。)
それ以降の処置については、規律フェアプレー委員会で決定をする。
※ 試合途中で怪我などの理由で(退場者を含む)競技者が不足したとき 競技者を補充し、8人で試合を続ける。
- (7) ベンチ入り出来る人数
※ ベンチに入ることができる人数は、交代要員全員と引率指導者3名
但し、交代要員はピブスを着用し、引率指導者は責任ある成人であること。
2名以上3名以内は必ずベンチに入らなければいけない。
※ テクニカルエリアは設置しない、戦術的指示はベンチにおいて、その都度ただ一人の引率指導者が伝えことができる。

三井のリハウス 東京都U-12サッカーブロックリーグ 競技運営

東京都少年サッカー連盟競技部

- ※ 負傷した競技者の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は1名とする。
- ※ 本大会に参加する競技者は、登録選手証(写真貼付されたもの)持参すること。
不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない(申請書、コピー、カラーコピー、は認めない。)選手証のみとする。
紛失した選手証は新KickOffでは再発行されないため、印刷物による確認を行う(少年連盟は電子登録証は認めない)

(8) 不成立試合

選手の不足、引率指導者の不足、選手証の不携帯、試合チームの一方が棄権した場合等は棄権試合として取り扱う。

- ① 不戦勝チームには、勝ち点3、得点3を与える。
- ② 不戦敗チームには、勝ち点マイナス1、得点0とする。

4 競技:運営について

(1) チームベンチ

- ※ ベンチは、ピッチに向かって番号の若い方が左側ベンチ使用して下さい。
- ※ 交代要員は、ユニフォームと異なる色(ピブス等)を着用してください。

(2) 試合前のウォーミングアップ会場

- ※ 指定された場所で
2ブロックでは、試合前のウォーミングアップ会場について、会場到着時、本部にて確認する。

(3) 試合中のウォーミングアップ

- ※ 指定された場所で
2ブロックでは、試合中はベンチ横でボール使用なしでおこなう。
2ブロックでは、ハーフタイム時は控え選手がアップする場所とする。

(4) ユニフォームについて

- ※ **2016年度「日本サッカー競技規則及びユニフォーム規定」に準ずる。**
- ※ ハンドブック「中央大会参加・お願い」を参照のこと。
- ※ ユニフォームチェックは試合開始40分前までに済ませること。
2ブロックでは、試合当日のGroup第1試合開始30分前のマッチミーティング時に当日試合分のチェックをおこなう。
- ※ 選手は試合開始10分前に指定集合場所でチェックをうけること。
2ブロックでは、選手チェックは以下のように変更する。
 - ※ **選手チェックは、試合開始 20分前に本部横で運営担当者がおこなうに変更する。**
 - 選手証は選手個人に持たせる**
 - 選手チェック担当者は、メンバー表に記載されている選手とカード、本人を確認する**
 - 選手証は確認時に選手から預かり、全選手確認終了後にチームコーチに返却する**

5 その他

各試合におけるユニフォームチェック時間、選手集合時間に10分の遅刻は失格とします。
ハンドブック「中央大会参加・お願い」を参照のこと。

暴力、暴言、も無き、安心 * 安全なU-12リーグを創るために!

三井のリハウス 東京都U-12サッカーブロックリーグ 大会要綱・競技運営追加事項

第2ブロック追加競技運営について

1 選手登録、指導者登録について

- ※ 登録済選手について変更、誤記等があった場合、速やかに修正版を総務部へ送付する。
- ※ 引率指導者(事前登録していない指導者)を当日変更する場合、白紙エントリー表に変更指導者名を記載し本部に提出する。
- ※ 試合毎に提出するエントリー表記載について、先発、サブ欄は「○」を記載する。
- ※ 試合毎に提出するエントリー表は本部にて保管する。(チームへの返却は行わない)

2 Group運営責任チームの選出、Group運営について

- ① Group運営責任チームを選出し、責任チームを中心に自主運営にてリーグ戦をおこなう。
※ 試合当日、運営部員がサポートとして入る。
- ② Group運営責任チームは立候補を優先し、立候補がない場合は抽選にて決定する。
※ 立候補チームがあった場合、全体の抽選より先に抽選をおこなう。
※ 立候補チームがなかった場合、運営部長がGroup毎に抽選を行い、引いた番号のチームを運営責任チームとする。
- ③ Group運営について、Group運営責任チームを中心にGroup内で決める。

3 試合日程、日程変更について

- ① 日程、審判割当については運営部で初期版を作成する。
※ 初期に割り当てたグラウンドは、江戸川区・葛飾区より割り当てられたグラウンドを使用するため基本変更を行わない。
※ 葛飾区のグラウンドは、使用しない場合でも費用がかかるため割当られた時間で試合を行ってください。
- ② 天候不良による試合日程変更について
試合会場が決定次第、Group責任者に運営部長より通知する。
また、Group内で会場が確保できた場合、Group責任者が配布済みの日程表を修正し運営部長に報告する。
- ③ 決められた試合日程日に試合が出来ない場合以下の通りとする。
 - ・ 試合出来ないチームは、Group責任者に文書で報告。Group責任者は運営部長に文書で報告する。
 - ・ 試合の出来ないチームは、試合会場を準備する。
 - ・ 対戦相手と日程調整し、Group責任者に報告。Group責任者は運営部長に文書で報告する。
※ 全試合消化が前提です。双方協力し日程調整をおこない試合を成立させる。
 - ・ 試合が出来ないチームの審判割当変更は、Group責任者が配布済みの日程表を修正し運営部長に報告する。
※ 報告はすべてメールにておこなう。

4 ピッチサイズとゴールサイズについて

- ① 基本サイズ：68m×50m
- ② 学校等会場提供する際は、60m×40mを下回らないこととする
- ③ 人口芝の会場を使用する際、アットやマーカーをライン代わりにすることはOKとする。
- ④ ゴールサイズは少年用を基本とする。
但し、提供会場により一般用ゴールを使用する場合は対戦チームの許可がある場合のみとする。

5 雷時の対応 (2014年4月11日 都運営委員会報告)

- 東京都中央大会競技運営において、雷雨の対応については試合開始から70%を過ぎて居たら成立とするブロックは、中央の規定を参考に対応すること
- ※ 70%：試合開始28分(後半8分)
試合開始から28分(後半8分)を過ぎていたら試合成立とする
試合開始から28分(後半8分)を過ぎていない場合は残り時間を後日おこなう

6 懲罰対象案件が発生した場合

- ① 会場責任者は、委員長に報告する。
※ 審判または会場責任者は、懲罰事項・事実確認調書を作成し委員長に提出する。
- ② 委員長から、東京都サッカー連盟・規律フェアプレー委員会(以下、連盟規律委員会と称す)に報告する。
- ③ 以降の対応については、連盟規律委員会の裁定に従う。

7 試合前日までの準備

- ① 試合日程の確認
- ② 各Groupの運営責任者の準備について
総務部より配信されたGroup内全チーム分の登録用紙印刷
大会結果記録用紙の印刷
警告・退場者一覧の印刷と出場停止選手の確認
懲罰事項・事実確認調書の印刷
マッチミーティングシートの印刷
- ③ 雨天中止時の場合の確認
試合当日に総務部のメールにて確認する

7 会場設営

- ※ 第1試合、第2試合のチームが、第1試合KickOff60分前に集合しおこなう

三井のリハウス 東京都U-12サッカーブロックリーグ 大会要綱・競技運営追加事項

会場責任者に必ず確認してから開始する

8 マッチミーティングの開催

チーム代表者、審判、会場運営責任者にて、KickOff30分前におこなう

※ 会場運営責任者が**Group第I 試合開始前にマッチミーティング**を行い、進行もおこなう
マッチミーティングは1日1回とする。

- ① 試合開始時間、ハーフタイム(インターバル)の時間確認(セレモニーの内容も合わせて確認する)
- ② ユニフォーム確認(GK、FPの正副持参する)
- ③ メンバー表提出、試合球(基本は本部で用意する)の確認
- ④ 出場停止者の確認
- ⑤ **選手チェックの時間確認**
- ⑥ **用具チェック時間、場所の確認**
- ⑦ 飲水タイムの有無確認
- ⑧ **ボールパーソンの有無、人数確認(会場によっては必要となる)**
- ⑨ テクニカルエリアの確認
- ⑩ 試合中、ハーフタイムアップの確認
- ⑪ 選手のケガの治療について確認
- ⑫ 雷雨時の対応確認
- ⑬ その他

9 用具チェックは、試合開始 10分前に指定された場所で、担当審判がおこなう

※ 用具チェックの場所は、マッチミーティングに確認した場所でおこなう

※ 用具チェック後はそのままベンチに移動する

10 会場撤去

※ 最終試合、最終試合1試合前のチームでおこなう

会場責任者に必ず確認してから開始する

11 試合結果報告

試合当日20時までに各Group責任者が運営部長にメールにて報告する

- ① 配布された対戦表に試合結果を入力し添付する
- ② 大会結果記録用紙を添付する
原本は後日運営部長に提出する(手渡しまたは郵送、FAXは不可)

12 審判員の数について

審判は4名でおこなう。(主審:1名、副審:2名、第4の審判:1名)

13 昇格・降格について

※ 2チーム登録のチームについて

- ・ 同一Groupには入れない
- ・ 昇格・降格については上位Groupにいるチーム方が優先され、下位Groupにいるチームの方はそれに引きずられる

① 前期リーグ

※ 前年度体育の日記念の成績上位5チームは同一グループに入らないようにする

上位5チームによる抽選でグループ分けをおこなう

※ 他のチームは、抽選にてGroup分けをおこなう

② 後期リーグ

※ 前期リーグの成績でGroup分けをおこなう

Group A : 各Group 1位・2位 Group B : 各Group 3位・4位

Group C : 各Group 5位・6位 Group D : 各Group 7位・8位

Group F : A Group - D Group 9位・10位、E Group 9位

※ Group A 1位のチームは、T2参入戦へ参加する